

安養院庫裡(あんよういん くり)

板橋区登録有形文化財(建築物) 平成22年3月25日登録

所在地：板橋区東新町2-30-23

交通：東武東上線「上板橋」駅徒歩15分

国際興業バス「小茂根三丁目」徒歩3分

〔小茂根五丁目⇄池袋駅東口(池55)〕

当建物は、明治34年(1901)に東京市麹町区下式番町(現：千代田区二番町)に、旧前橋藩松平家十三代目当主、伯爵松平基則の本邸として建築されたものです。昭和4年に安養院によって買い取られ、現在地へと移築されました。

現存する建築時の棟札によると、建築技師は乃木希典邸(港区文化財)や本郷にあった前田邸日本館(焼失)などを設計した、海軍建築技師の北澤虎造が担当しています。

建物全体は、向唐破風付きの車寄と内玄関が付属する本陣、正式の書院造の広間を上下に持つ2階建ての書院棟と付属棟で構成されています。なお2階の15畳は、格式の高い接客空間で、黒漆塗のかまち框で仕切られた3畳の上段を備えるなどの特徴があります。

昭和4年の建物移築は、畳・建具・瓦などを再利用するなど正確な移築を目指したもので、当時の大工の技術水準の高さを検証することを可能としています。当庫裡は、日本の近代和風建築を考えるうえで指標となる重要な建築物です。

